'96年全国協同集会へむけて

協同集会のもつ意義―開催地から

菊地　芳雄（宮城県／石巻地区中高年雇用事業団・理事長）

「いま『協同』を問う」全国集会は87年のプレ集会から拡大発展をとげ、今回で6回目になります。

私はこれまでの集会に数多く参加してきました。はじめのころは、労働者協同組合を現代に問う、仕事おこし・地域づくりネットワークをつくり上げようとの集会でありましたが、92年の集会では「人類の危機と協同でひらく未来」へと展開してきました。

集会においては、地域での多様な協同のこころみや協同組合のネットワークづくりが語り合われ、さらに事業団で働く団員就労者だけでなく、地域の高齢者をはじめ障害者・女性・青年たちが地域の主人公になって、新しい働き方を模索する立場になり、健康で安全な食品づくりや環境にかかわる清掃・ビルメン・リサイクル・新しいエネルギーの探究・人間発達につながる福祉・医療・教育・文化などの発展を追求する場になり、回を重ねるごとに労働者協同組合と協同のつどいが成長発展してきたと思っています。

第6回目の全国集会が仙台で11月に開催されることになり東北ブロック会議と仙台において、「協同を問う」実行委員会が開催されて、石巻事業団のはたす役割も明確になって来ました。

石巻地方でも一次産業の漁業は二百海里の漁業規制も含め、不況の状態にあり漁船員の停年後の雇用不安は増大するばかりです。このなかで漁船員同志がお互いに出資し、協同で海の魚釣船を経営する動きもでているようです。農村も出稼ぎする場も少なくなり、又後継者も育成できず大変な思いでいます。何んとか協同のネットワークのなかで活路を見いだせないのかと思うと、「協同を問う」集会開催の持つ意義の深いことを痛感します。

いま石巻では集会の成功をめざして、実行委員、呼びかけ人、賛同者の要請にとりくんでいます。3月には石巻市・宇佐美助役と菅原市長に要請を行ない、11月の「いま『協同』を問う」全国集会にはメッセージをだすとの確約をもらいました。又、全日本漁船組合石巻支部・鈴木支部長には、集会にパネラーとして参加して頂くことを要請いたしました。

石巻はこの集会のなかで仕事おこし、地域づくりの理論・実践と経験の交流を学びとり、石巻のこれからの実践活動、協同の集り、高齢者協同組合づくりに仲間と共にがんばってゆく決意です。

月刊 ゆたかなくらし
定価 515円（送料76円）
年間購読料 6,000円（送料900円）
ご購読は直接当会へお申込み下さい。
郵便振替・00190－5－57278
国民的課題としての老後をともに考える
●95年各号の特集テーマ●
1月号　命を削る老人ホームの買用徴収
2月号　公的介護保険制度は何をもたらすか
3月号　高齢期と集合住宅
4月号　検証・老人保健福祉計画の実行
5月号　よりよい医療・保健・福祉を支える条件
6月号　男たちの老後不安
7月号　老人ホーム ケア・プランの狙いはなにか
8月号　戦後50年・社会保障裁判から人権を考える
9月号　ボランティア活動を考える
10月号　介護保険制度問題　パート2
11月号　介護保険制度問題　パート3
12月号　高齢者医療は第一線の医療・看護で
好評連載
●歴史のなかの老人と家族（井川興一）
●北欧の福祉先進老人介護現場視察旅行記
●輝（き）になる人
●人生の神（禅）師
●情報コーナー
すいせんします
木下　恵介
山田　洋次
中島　紀恵子
早乙女　勝元
浦辺　鶯谷
増田　史
増田　善教
寿岳　真田
原田　長
正二　是
小川　子
政　宏
亮
編集・発行　全国老人福祉問題研究会　〒173　東京都板橋区大山東町59-8ドルメン大山101号　☎03(3579)8721